

ENDOLENS®-S

内視鏡洗浄消毒器
エンドクレンズ®-S

17分^{*}で高水準消毒が可能
※当社給水条件、ディスオーパ[®]消毒液0.55%使用時。

12Lの薬液量で経済的
Piっ!と簡単操作の液晶タッチパネル



許可番号: 22BZ5006
エンドクレンズ®点検・修理
365日 24時間
お客様をサポート
テクニカルサービス コールセンター
フリーダイヤル
0120-775-902

エンドクレンズ®-S 指定消毒剤
創薬 指定医薬品 フタラール製剤
ディスオーパ[®] 消毒液0.55%
DISOPA[®] Solution 0.55%
化学的殺菌・消毒剤 [医療器具・機器・装置専用]
承認番号: 21300AMY00444000

Johnson & Johnson

エンドクレンズ®-S
発 売 元 ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社
製 造 元 株式会社 アマノ
〒438-0806 静岡県磐田市豊田町東名65 TEL.0538-37-2811

ディスオーパ[®]消毒液0.55%
製造・発売元 ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社

資料請求先 ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社
ASPジャパン ICPマーケティング
2004年 9月30日迄
〒135-0016 東京都江東区東陽6丁目3番2号 TEL.03-5632-7216
2004年10月1日以後:
〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号 TEL.03-4411-7908

© J&J KK 2004
© 登録商標

消化器看護がわかる・実践できる情報誌

総合消化器ケア

隔月刊 2004

【連載】

胆囊・胆管疾患症例のCT・MRI画像

肝癌の治療・看護ケア

モルヒネ等鎮痛薬のQ&A

内視鏡検査におけるセデーション

腹痛時の観察と対応

特集

根拠に基づいた消化器疾患の治療とケア





自らのキャリアアップを振り返って、そしてこれからのキャリアアップに向けて

私は先のことをあまり考えず、何事も思い立つたらやってみるということをモットーにしてきたのではないかと思います。失敗して落ち込むようなことがあっても、自分で這い上がっていきたいと考えています。また、人から元気をいただき、私からも元気を与えることができるような、人とのかかわりが持てる仕事をこれからもしていきたいと思います。

私もそうでしたが、看護師としてこれからどのように

うにキャリアアップしていこうかと考えている方、例えば卒後5年目ぐらいの方などは、自分なりの看護觀が少しづつ形になってきた頃ではないかと思います。自分の看護師としての進み方に行き詰った時、またどのようにキャリアアップをしていこうかと考える時は、いったん初心に戻って今までの仕事をもう一度振り返ってみるとよいと思います。そうすると、今までしてきた仕事に対する反省と、新たな目標、課題が見えてくると思います。それは、必ず次のステップにつながっていくと思います。

(文／日総研大阪事務所 馬越信行)

末期肝臓癌をあきらめないで

家族愛の医療、生体肝移植術への挑戦

岩下一樹

第四回 ベンツマークと共に ～肝臓移植ドナービー体験記

※本連載では、著者岩下由加里氏の父が、著者の弟である岩下一樹氏をドナーとして生体肝移植術を受けた実体験を基に、医療従事者として感じたこと、また患者家族として感じたこと、そして家族愛の医療を通して得たものを、手術の経過と共にお伝えしています。今回は、「肝臓移植ドナービー体験記」として、ドナーとなった岩下一樹氏に執筆いただきました。

はじめに ～ベンツマークの傷跡

今回、姉より肝臓移植のドナービー体験記を書いてみないかとの話があり、私の体験が医療従事者、移植を考えている人々にとって少しでもお役に立てばと思い、執筆することにしました。私は医療界の人間ではないので、一般人として素朴に感じたことを述べたいと思います。

私のおなかには、ドイツの有名な自動車メーカー「ベンツ」のマークによく似た手術の跡が刻まれています。今回、原稿をまとめるに当たり、服をめくって実際にどれくらいの傷跡なのか定規で測ってみました。ヘその3cm上から真っすぐ縫に伸びている傷跡は20cm、左右に伸びている横の傷跡は左に10.5cm、右に24cmあり、傷跡の幅は5mmで、薄いピンク色のケロイド状になっています。初めは濃いピンク色だった傷跡も、時間が経つにつれ、少しづつではあります、肌の色に近づいています。

手術から8ヵ月が経過した現在、予想以上に順調な回復をみており、多少の鈍痛、傷口の突張り感、疲労時の刺激痛などはありますが、日常生活にはほとんど支障のない状態です。まだ激しい運動（全力で走ったり、水泳をしたり）などはできないのですが、ゴルフなどの比較的動きの少ない運動はすでにやっています。

国内で受講できる唯一の通信制看護系大学院です。

(平成16年10月現在)



オーストラリア・ビクトリア州メルボルン
公立 ラ・トローブ大学
通信制大学院 看護学修士取得コース

第9期生募集 11月22日開講 | 第二次願書締切 10月31日 (当日消印有効)

ナースを育成する教育現場に修士号は不可欠！

「日本で仕事を続けながら日本語で、海外の大学院で学びたい」というご希望に応えます。

※修了式をかねたスクーリングのみ、一週間前後オーストラリアで行います。

コースの特徴

- ◆通信制国際コース共通の教材パッケージを使用。自主的な学習方式で世界標準の学力が身につきます。
- ◆教材は日本人指導講師が責任邦訳編集。日本の医療・看護事情に沿った内容を学ぶことができます。
- ◆教材もレポートもすべて日本語。英語文献も使用します(必修ではない)が、辞書を引きながら概要がわかれればOKです。

★コース内容の詳細は www.nissoken.com ★お申し込みは 日総研お客様センター ☎0120-057671 cs@nissoken.com

親孝行の最大のチャンス

手術をすることになった経緯は、この連載すでに述べられているので省略しますが、私は必然の状況のなかで、ドナーとしての立場に立っていました。「親のためとはい、よく決断したね」などの言葉を多くいただきましたが、私としては「親孝行をする最大のチャンスだ」という考えの下での行動でした。

私は教師になりたいという夢のために、私立の音楽学校の声楽科に進学しました。お世辞にも一生懸命勉強したとは言えず、多額の授業料を払い、仕送りをしてくれている両親に対して、心の底から感謝することなく、当然のごとく親の愛情に甘えていました。本格的に声楽を勉強していく間に、オペラ歌手という職業に興味を持ち、大学卒業後も専攻科、専門のオペラ学校など、私の望むままに勉強を続けさせてもらいました。結局、26歳まで親のスネをかじり続けていました。

オペラ歌手になるという夢は26歳で破れてしまいましたが、母校で助手の仕事をいただき、その後はオペラ歌手育成の仕事に携わっていました。自立することができるようになったその頃から、それまで当然のようになっていた仕送りや高い授業料など、わが子とはいえ文句の一つも言わず援助をしてくれていた両親に申し訳ないなあという気持ちがわいてきて、いつか何かの形で恩返しができないかと考えていました。そんな時に出てきた話が、肝臓移植についてでした。「これを逃したら、恩返しをする機会は二度とない」と思い、迷うことなくドナー役を買って出ました。

「怖くないか?」との質問も随分されましたが、手術中の痛みも感じることがないわけだし、もし手術が失敗して死んでしまっても、麻酔で眠っていて起きない状態が永遠に続くだけだから、自分自身は自覚も何もないだろうし、手術後の後遺症や痛みについては多少の不安を感じていましたが、そんなことより恩返ししかりません。がんばればいいやという気持ちの方が強く、むしろ早く手術にならないかと楽しみにしていたくらいでした。

また、結婚をしたばかりでしたが、妻も一度の反対もなく、むしろ提供するのが当然だという考えだったことも、即決できた要因だと思います。とはいえ家族は、手術を決める前後から、それぞれの立場でいろいろ悩み、苦しんでいたようでしたが、私は、前述のとおり親孝行の最大のチャンスということと、もう一つ、手術によってやせることができるのではないかとの期待を持っていました。

自分を苦しめた勘違い

大学進学で上京てきて一人暮らしを始めた頃から、少しづつ太りはじめ、数回のダイエット、リバウンドを繰り返しながら18年が経ち、もう立派なおじさん体型となっていました。何かの機会で18歳の頃の自分に戻りたい(スタイルだけでも)と思っていたので、手術によってやせることができるのでないかと考え、不安な気持ちより、手術後の18歳の頃の自分のスタイルを夢見て、一人ニヤニヤしていました。

手術前の検査で、脂肪肝の傾向があるからやせてください、との指導が主治医からあり、今まで妻にやせなさいよと言われても空返事ばかりだった私が、主治医の言葉は神の声に聞こえてきて、2ヶ月間で7kgほど減量に成功しました。心配された脂肪肝もほとんどなく、手術に備えることができ、私のダイエット計

画の第一段階は順調に見えました。

しかし、私は一つだけ大きな勘違いをしていました。それが手術後に大きく自分を苦しめるとは思ってもみなかったのです。

大の甘党の私は、酒よりアイスクリームといった感じでした。手術前の1週間の入院でも、和菓子屋さんを病院の近くで見つけ、足繁く通っていました。11月後半の手術であったため、落ち葉が舞い散る病院内の散策地で薄皮饅頭と、いきなり団子(サツマイモに餡をからめた地元名産のお菓子です)を3時ごろこっそり食べるのが、手術前の楽しみになっていました。

手術の前日もいつものように和菓子を買いに行ったのですが、これで最後になってしまふかもしれないふと考へ、いつもより種類を多く、思い残すことのないように食べたのでした。その日の夕方から下剤を飲みますよと看護師からは言われていたのですが、それが何のためなのかよくわからず、どうせ下剤で出てしまうのなら食べてもいいやとの、都合のよい考え方での行動でした。しかし、この行動が手術後5日間の地獄の苦しみとなって帰ってきたのです。

手術当日のことはほとんど覚えておらず、姉の手記を読んで、そんなこともあったのかと知らされることが多くありました。私の本当の意味での苦しみは手術後に待っていました。ベンツマークの痛みは想像をはるかに超えていました。もちろん、手術全体の痛みが体中を襲っていたのですが、表面的に見えるのはこのベンツマークなので、傷口を見ながら、一体内臓はどうなっているのか? 血管はうまくつながっているのか? など、さまざまな不安と痛みが襲ってきました。

傷口の痛みと並行して、おなかが張ってとても苦しました。事前の説明では、一度ガスを出すと後は落ち着くからと言われていました。その一度のガスを出すのも大変でしたが、出てからも全然楽にならなかったのです。姉に尋ねると、前日までの食べ物が残っていたら、かなりつらいよとの一言。こんなに苦しいのであれば、和菓子を無理して食べなかったのに、と後悔の連続でした。

短時間で回復した裏話

ガスを出すために、手術後2日目から必死の思いでトイレに歩き、おなかの痛さで踏ん張れないのだけれど、踏ん張らないとおなかが張ってしまって耐えられない、そして踏ん張りすぎて肛門が痛いという悪循環のなか、姉の手記では早い段階で歩行を試みたことがよかったですと書かれていましたが、ただ単に、トイレに行ってスッキリしたいという気持ちが私を動かしていたのです。いちいちトイレに行かなくても、ベッドの上で済ませることもできますと言われましたが、人前で排便するなんてという羞恥心が強く、何度もトイレに立ち上がっていました(結局一度だけ、ベッドの上で排便しました。恥ずかしかったです)。

手術後、個室に入ったのですが、困ったことに、病室は個室なのにトイレは隣の部屋と共同になっています。最初はシステムがわからず、「なぜ入口が左右にあるのだろう?」「尿を採った覚えがないのに、この尿瓶は誰の?」と悩んでいましたが、隣の部屋とトイレが共同なのだと気づくのにしばらく時間がかかりました。

時間の感覚がまったくない状態での手術後の数日間は、ちょっと寝て、チューブを引きずりながらトイレ

に座る、という生活を繰り返していました。隣にどんな方が入院されているのかや、トイレ内での音を極力出さないようにしようと気にながら、一日何十回もトイレに行くことにも神経を使っていました。せめて、トイレは共同にしないでほしいと、強く感じていました。私が、極めて短時間で回復していました。実はこんな裏話も存在していました。

入院中に感じたこと

1週間もすると状態も落ち着き、大部屋に移されました。そこからは、暇との闘いが待っていました。朝、6時に起きて7時に朝食、12時に昼食、18時に夕食と、食事を中心に一日がゆっくり過ぎていきました。気持ちにも少しづつ余裕が出てくると、病室内のいろいろなことが見えてきました。部屋の清潔さや、医者や看護師の態度など、これだけ暇だと本当に多くのことが気になってきます。

そのなかでも一番気になったのは、土曜・日曜の勤務体制についてです。当然、労働者なので休みを取ることは大切ですが、患者には土曜も日曜もありません。ですが、土曜・日曜は往診、検査、手術などをしないということが前提としてあり、当然のようにシフトが組まれている点に、とても不安と不満を感じました。

例えば、金曜の夜に体調が変化した場合、最悪月曜にならなければ、通常の流れのなかで対応をしてもらえないということが、大きな問題だと感じました。もちろん、それなりの対応はしてもらえますが、平日と休日という考え方を病院ではしてもらいたくないと強く感じました。患者にとって曜日は存在しないのです。

管理体制を見直せば、すべての曜日で同じようなサービスが受けられるのではないかでしょうか。検査・手術ができるのであれば、患者とのコミュニケーションをとる時間を土曜・日曜でとり、病状や悩みを時間かけて聞くことなどをすべきではないでしょうか。

次に感じたことは、看護師の個々のレベルにあまりにバラつきがあるということでした。早朝からの採血で看護師の実力ははっきりわかります。毎回失敗する人、調子のバラつきがある人、低姿勢なのに技術が伴わない人、乱暴だけど腕がある人など、しばらく入院していれば、暇な患者からすると看護師個々の実力をわかります。

もちろん、採血だけが看護師の仕事ではないのですが、血を採られるという行為は、とてもデリケートな作業です。「注射される」という、子どもの頃から誰もが体験している恐怖に対しては、日本人は確固たる判断基準を持っていると思います。すなわち、採血は看護師の器量を見極める、患者側のパロメーターになります。いくら優しい言葉をかけられても、採血が下手な看護師では、患者は安心できないと思います。技術向上に職場全体で取り組む必要があるのではないでしょうか。

おわりに

手術からの永い眠りから（実際は15時間くらいですが）、運よく覚めることができ、多少の不自由さを感じながらも順調に回復できることについて、妻はもとより、家族、親戚、友人、会社関係の多くの皆様方の支えによるものだと、常に感謝しています。また、手術を無事に成功してくださった、主治医の先生方、看護師の皆さんにも、この場を借りて心からお礼を申し上げたいと思います。

父が少しでも長生きでき、病気を苦にすることなく生活できるようになって、本当によかったです。日本の高いレベルでの医療の進歩が、私たちの生活を助けてくれます。生体肝移植というデリケートな問題のなかで、家族とのつながり、金銭的なこと、周りの理解など、すべてがよい方向に向かっての移植は少ないと思いますが、内臓の移植によって多くの人々がもう一度、人生を歩き直せるようになり、一日でも長く生き生きと暮らすことができるようになったらよいと思います。もし、私の経験が少しでも多くの人に役に立つがあれば、できる限りの協力をしたいと考えています。

最後に、神の声（主治医）の「やせますよ」という言葉は私には当てはまらず、現在は10kg近くリバウンドしています。でもこの点は自分の責任なので、ここでは多くを語らずに終わりたいと思います。脂肪肝はもとより、肝臓病にならないようにこれからも注意していきます。二度と移植はできない体なので。

平成16年7月 岩下一樹

国際移植者組織トリオジャパン
<http://square.umin.ac.jp/trio/index.html>

働きながら日本語の教材で看護学士を取得できる！

オーストラリア・クイーンズランド州

 Griffith UNIVERSITY
Queensland, Australia

公立グリフィス大学

通信制 看護学士取得編入コース

第25期生募集 2005年2月14日開講

※定員は各期40名、
願書締切は1ヶ月前

受講システムやプログラムの詳細を
ホームページでご案内中です。

www.nissoken.com

お問い合わせ・お申し込みは 日総研お客様センター ☎0120-057671 cs@nissoken.com